

**2003 年度第 1 回私立大学図書館協会  
東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議記録**

実施日時：2003 年 10 月 2 日（木） 13：30～17：00

場 所：名城大学附属図書館 視聴覚室

テーマ：「図書館コンソーシアム」

参加者数：22 大学（31 名）、1 業者 2 名

**【報告】**

1. 「電子ジャーナル・データベース導入にかかる私立大学図書館コンソーシアムの形成について」

早稲田大学図書館 総務課長 中元 誠

私立大学の経営環境の変化、大学図書館経営環境の変化といった背景について触れられたあと、わが国の図書館コンソーシアムの形成についての動きが説明された。また、具体的なコンソーシアムとして本年 7 月に早稲田大学を始めとする 8 大学から呼びかけがあった「私立大学図書館コンソーシアム」について、その形成経過や 2004 年度以降のコンソーシアム契約として OUP(Oxford University Press)との交渉状況、Wiley InterScience 社、Blackwell 社からのオファーについて報告があった。

2. 「CAN 私立大学コンソーシアムにおける図書館相互利用」

愛知学院大学附属図書館 閲覧係長 足立 祐輔

2000 年 10 月に中部大学附属三浦記念図書館、愛知学院大学附属図書館、南山大学図書館で締結された CAN 私立大学コンソーシアムについて、その設立の経緯、活動内容について報告があった。特に、2002 年より開始された図書館相互利用について、その広報、利用状況、問題点についてホームページを参照しながら説明があった。また、今年度より開始された職員相互研修など、今後の展開についても報告があった。

**【業者プレゼンテーション】**

1. 「SuperHABIL（相互貸借システム）」

（株）エム・ビー・エー 久川 真史

このシステムは、NACSIS のミニ ILL 版とも言えるもので、地域や同館種での相互貸借システムを構築できる。サーバは、（株）エム・ビー・エーのものを利用する ASP 方式(Application Service Provider-アプリケーション・サービス・プロバイダー)と

いわゆるコンピュータのアプリケーション機能がインターネットを利用してユーザに提供される方式が取られている。そのため、初期投資を押えたシステム構築が可能となるほか、ユーザ側でサーバ管理は不要となるものである。

【意見交換ならびに情報提供】

- ・私立大学図書館コンソーシアムについて（補足説明）
- ・ILL 料金相殺制度について
- ・教育研究情報利用経費補助金（電子ジャーナル等補助金）について
- ・東海地区協議会データベース共同トライアルについて
- ・来年度の洋雑誌価格の見通しについて  
等について意見交換・情報提供があった。

以上